

月刊

ボランティアと、
地域活動の情報満載。

ボラナビ

3月号

無料

● 月25日発行(第31号)

ボラナビとは

ボランティアナビゲーション(案内役)
を略した造語です。

今月の表紙は、三戸部祥子さん(23才)の作品です。高校生のときに映画「リバーランズスルーイット」を見たのがきっかけで映画鑑賞が趣味になり、多いときには月に10本見たこともあったとか。映像や流れている音楽に刺激されて、イラストの新しいキャラクターが浮かぶこともあるそうですよ。



特集

あッ そうなんだ! NPO基礎講座

第2回

NPOのメッカ、サンフランシスコ訪問⑤

アメリカのNPOから学ぶ



あッ そうなんだ! NPO基礎講座

第2回 自分を中心点にコンパスでグルッと描く社会



前回から、北海学園大学法学部助教授の樽見弘紀さんに「NPOって何だろう」というテーマで3回の連載をお願いしています。

樽見さんのお話ですと、今回のタイトルは去年のうちに考えていたものの、本文を書いたのは21世紀のお正月。サザン（オールスターズ）の年越しライブに感動した勢いで机に向かったんだそうです。ツナミのようなNPOの胎動、感じられますか？

いきなりですが、今回のテーマはちょっとむずかしい。公益とはいったい何だろうか、ということについて考えることから始めます。

公益法人という言葉は何となくご存じだと思いますが、民法では社団法人と財団法人のことを指して公益法人といっています。一般には学校法人や医療法人なども公益法人に含めることがあります。とにかく、簡単にいうと、個人や特定のメンバーだけの利益ではなくて、広く社会の利益にかなうというのが「公益」です。そして、公益の実現のためにがんばる団体が「公益法人」ということになります（実態はかなり違っているのが問題なんです）。さて、NPOと公益、いったい何の関係があるの、と疑問にお思いかもしれません。実は関係は大ありです。

というのは、前回も触れたNPO法（特定非営利活動促進法）の第1条には、NPOは「公益の増進に寄与することを目的とする」こと、とちゃんと書いてあります。ちょっと待ってよお、この連載、前回の話ではNPOとは非営利組織のことであって、「儲けることを一番に考える会社」という意味じゃなかったの、と疑問にお思いの方、自信を持って下さい。あなたのNPOに関する理解は大きく前進しています。

ホントはそうなんです。「営利」の反対語は「非営利」であって、「公益」ではありません。従来の公益法人と同じ見方に立って「営利」の反対を「公益」としてしまうと、営利を追求する訳ではないけれど、だからといって広く公共の利益に寄与するために集まった訳でもない、というグループには法人化の道が閉ざされてしまうことにもなりかねません。

たとえば、札幌に「タバコを吸う権利を守る愛煙家の会」という市民グループがあったとします。僕個人としてはタバコはテレビドラマで吸っている人を見るのもイヤなんですけど、でも吸いたい人は吸いたい、その気持ちはよく分かる。なぜなら仮にちまたでモリモトの生チョコやモロゾフのプリンの販売中止がまことしやかに囁かれたら、僕はすぐさま仲間を募り、「販売中止断固反対！」を訴えて真っ先に立ち上がるだろうからです。しかし札幌の愛煙家仲間やモロゾフのプリン愛好家仲間の利益は「公益」と言えるのかどうか？ 難しい問題です。そもそも何人くらい利益をカバーすれば私益ではなく、公益と呼べるのでしょうか？

NPO法の場合、ヒントは下記の第2条「別表」にありました。第2条では「公益」を「不特定かつ多数のものの利益」と言い換え、その具体的な活動内容を別表の12項目で明らかにしているのです。

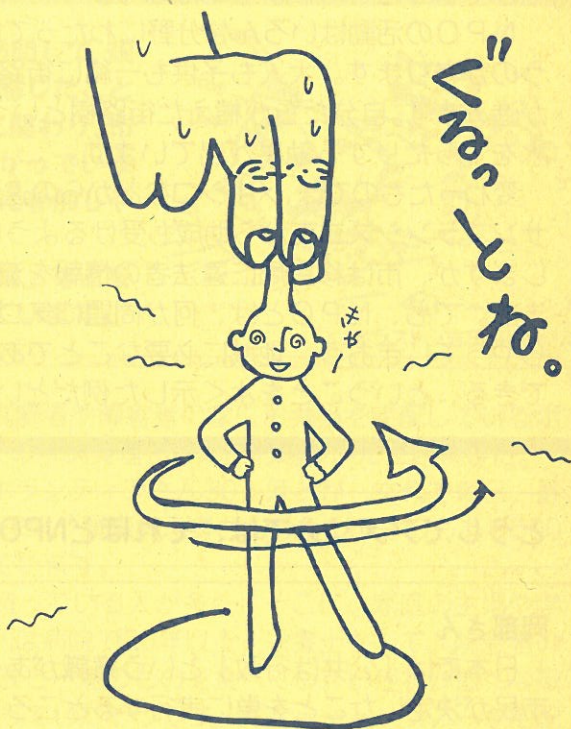
でもちょっと待って下さい。この別表とにらめっこをして、自分たちのNPOの目的を決めるべきなのではないでしょうか？ 5番目の「環境の保全を図る活動」がNPO法にいう「公益」にかなうからといって、いきなりご町内のゴミ拾いをはじめますか？ あるいは、9番目の「国際協力の活動」ならOKだからといって、英語もろくに出来ないのに貯金を全額下ろして海を渡りますか？ これではあべこべですよ。

本当は、先にやりたいこと、社会のなかで実現したい目標があるんですよ。問題は、あなた方が考えた組織独自のミッション（「他にはない魅力」）が法律に照らして公益性を持つかどうか、具体的には、NPO法にいう12項目のいずれかに合致するかどうかです。

ご心配には及びません。「12項目」などにはとらわれずに、まずは自由な発想で、自分たちらしいNPOの起業を志すべきです。私見にしかすぎませんが、公益とは「その機会がメンバーだけに閉じられていない、誰にでも開かれている」というくらいの意味でしかありません。たとえばこれだけ禁煙、分煙の徹底が急がれている時代に、歴史を逆行するような「愛煙家の会」ではさぞや人々の共感は得にくいでしょう。でも、活動がつねに情報公開されていて、異論や反論とまじめに向かい合う姿勢があるならば、それはそれで立派なNPOになりうるように思います。

もとより「何人の利益をカバーしているのか」などを考えるのは馬鹿げています。自分たちの信じる価値観をもって勇気をもって社会的起業をなして下さい。自らを中心点にして、自らの価値観というコンパスでグルッと描く社会、NPO法にいう「公益」をそんなイメージでとらえたらどうでしょう。

もう少し実務的なレベルで、法律に則したかたちでの「目的」の表現を工夫したい方は、たとえば北海道NPOサポートセンターが親身になって相談にのってくれることを書き添えておきます。（つづく）



別表 (NPO法第2条関係)

- 1 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- 2 社会教育の推進を図る活動
- 3 まちづくりの推進を図る活動
- 4 文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- 5 環境の保全を図る活動
- 6 災害救援活動
- 7 地域安全活動
- 8 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- 9 国際協力の活動
- 10 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- 11 子どもの健全育成を図る活動
- 12 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

メモ

北海道NPOサポートセンター
北区北11条西4丁目1-29
TEL 011-716-3369 FAX 011-716-2899
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp
<http://www.infosnow.ne.jp/hashinet/>

NPOのメッカ、サンフランシスコ訪問⑤

アメリカのNPOから学ぶ

サンフランシスコの各NPO取材した際、ジャーナリストの岡部一明さんに大変お世話になりました。1月に岡部さんが札幌にいらしたので、アメリカと日本のNPOについてお話をうかがいました。

○ アメリカでは、NPOはどのくらい浸透しているのでしょうか？

岡部さん

NPOの数は、147万団体(しかし、財団法人、社団法人、学校などを含む。92年)。雇用数は1511万人で、連邦や州の公務員数の2倍以上です。全NPOの推定年間支出総額は日本の国家予算額に匹敵するほどで、行政とは別のルートから公共的サービスを提供しているといえるでしょう。また、18歳以上の54パーセントが、週平均4時間のボランティア活動をしているという統計もあります。

NPOの活動はいろんな分野にわたっています。例えば、町に街路樹を植えるNPOというのがあります。大人も子供も一緒に街路樹を植えたり世話をしたりすることで環境教育が進みます。自分たちが植えた街路樹という意識から、地域の人が木を大切にし、すすんで水をやったりする効果が出ています。

変わったものでは、メキシコなどからの違法滞在外国人のために仕事を探すNPOがあり、サンフランシスコ市から助成も受けるようになりました。移民局は違法者を取り締まろうとしますが、市は移民局に違法者の情報を流したりはしません。この活動には賛否両論あります。でも、NPOとは、何か問題に気づいたら社会全体の合意を得る前にできることからやっつけてしまおう、地域に必要なことであれば寄付や協賛が集まり、行政を動かすこともできる、ということをよく示した例だといえるでしょう。

○ どうしてアメリカでは、それほどNPOが活発なのでしょう。

岡部さん

日本では「公共は行政」という意識がありますが、アメリカでは「公共は市民」、行政は市民が決定したことを単に実行するところ、ととらえています。それはシステムにもよく表れています。例えば、市議会を含むほとんどの公的な会議で市民は自由に発言できます(ひとつの議題につき一人3分以内、など規則あり)。市議は、ひと月3万とか5万円の給料しか払われないボランティアで、本業を別に持っていることがほとんど。市議会は夜開かれ、市民の意見をよく聞いて決定を下します。また、市民活動を長年していた人が行政(公務員)に転職したり、その逆もあります。公聴会は毎日多くの場所で開かれ、行政情報は日本とは比べ物にならないくらい公開されています。インターネット料金は安く、電話料金も基本

料ひと月1000円強を払えば市内は使い放題です。

アメリカは寄付文化が根付いていることもNPO発展の要因でしょう。個人は平均して所得の2.19パーセントを、75パーセントの世帯が年間平均978ドル（10万円弱）を寄付しています。

日本では「アメリカは日本とはボランティアの文化、歴史が違う。日本では無理」とあきらめの声をよく聞きます。

岡部さん

ボランティアに文化もへったくれもありません。目の前に困った人がいる、それに手を貸したいと思うのは万国共通の人間性です。事実、日本でも阪神淡路大震災で多くの人たちがボランティアにかけつけました。問題は、それを支える仕組みがなかったことです。

それをつくってしまおうということでNPO制度ができ、今、多くの人たちががんばっておられるのですね。日本人は集団でものごとを行うのがアメリカなどよりむしろ得意。あと10年もするうち、すばらしいNPOとボランティアの文化が日本に生まれているでしょう。外国のものを取り入れながら、よりすばらしいものをつくってしまう、というのは日本のお家芸ですね。

ボラナビスタッフは、サンフランシスコのNPOを訪問して、規模の大きさ、質の高さに驚きました。日本との差を感じたことは「がっかり」ではなく、日本でも多くの人がNPOに関わり、市民活動が活発になっていこうという期待につながっています。そのためには、余暇時間が増えるなど市民活動に参加しやすい環境も必要と感じました。

なお、岡部さんは名古屋の東邦学園大学で「NPO論」などを教えるため、4月に日本に帰国されることになっています。

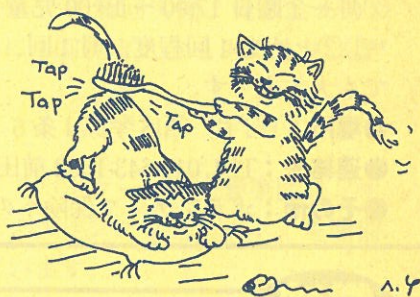


イラスト 吉田あゆみさん

★月の集い

1月のボラナビの集いには、3年前から高齢者や障害者の家にお弁当を宅配しているボランティアグループ「ニュートリケアー」の片桐英理子さんにお越しいただきました。

ニュートリケアーは、スタッフ4人とボランティアさん30人ほどが、交代で毎日、昼と夜のお弁当を作っています。お弁当は糖尿病や腎臓病患者さんのためのものもあり500～700円。週末は、一日で130食ほど作っています。

ニュートリケアーには栄養士の資格を持っている人が多く、そこに、家庭の主婦や学生さんが協力しています。代表の片桐さんは病院で20年以上、栄養士として入院患者の食事の管理をしていました。退院すると家族と一緒にものを食べてしまい症状が悪くなる人が多いため、退院後の力になりたいと思っていたそうです。「ニュートリケアーが宅配できるのは東区と近郊だけですが、いずれはノウハウを覚えたボランティアさんが、他の地域で同じような活動を始めてほしい」とおっしゃっていました。ニュートリケアーは今もボランティアさんをボ集中です。TEL 011-782-7756 FAX 011-782-2578

片桐さんは、ボラナビの集いの参加者のためにいつもお菓子を作ってくださっています。集いの参加費を300円に安くしたため材料費を払えなくなってしまったのですが、「喜んでもらえるなら」と変わらず作ってくださっています。本当にありがとうございます。



ボラナビでは、今、5月号に掲載する情報を集めています。3月25日までに、最終ページにあるボラナビの宛先までお寄せください。

※春はボランティアさんが卒業・就職などで入れかわる時期です。この頃に合わせてボ集したい方はお早目に！

イラスト：タケダミヲ

常時

子供の送迎とリハビリのお手伝いボラ ボ集

●**内容**：発達の遅れている6才の女の子を、学校から児童会館まで送迎して下さる方と、児童会館から自宅までの送迎、その後1～3時間のうち都合のつく時間内でリハビリのお手伝いをして下さる方をボ集しています。

●**日時**：①月～金曜日 13:00～15:00のうち15分程度（曜日によって違います）学校が終わる時間に迎えに行き、徒歩15分先の児童会館まで送る。

②月～金曜日 17:00～19:00 児童会館から自宅へ送り、19時までリハビリの手伝いをする。

*①②とも週1回程度。月1回、1時間でも結構です。また、用事のある場合はお休みいただいても大丈夫です。

●**場所**：(自宅) 西区琴似4条6丁目 (学校) 西区琴似2条7丁目琴似小学校

●**連絡先**：TEL 011-643-1002 前田 (18:00～22:00)

●**その他**：ボランティア保険への加入をお願いします(当方で負担)。

常時

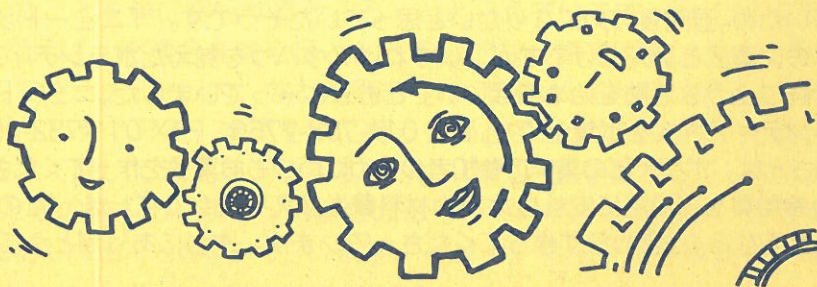
ボランティアサークルの活動をのぞいてみませんか？

●**内容**：ボランティアサポーターズ「はぐるま」では、おしゃべりをしながらちょっとした小物・メッセージカードを作って在宅でケアをされている方のお誕生日にお届けしています。どなたでも好きな時にいらしていただいて結構です。私たちの活動をちょっとのぞいて見ませんか？皆様のおいでをお待ちしています。

●**日時**：毎週水曜日 11:00～15:00

●**場所**：愛全会総合在宅ケアセンター(すこやか愛ちゃん) 2F 南区川沿14条2丁目

●**連絡先**：TEL 011-571-5532 (佐藤) 18:00以降



常時**スポーツコーチ ボランティアおよびアスリートボ集**

スペシャルオリンピックスでは、知的障害者をサポートするスポーツコーチおよび送迎ボランティア、また、知的障害を持ったアスリートを下記のとおりボ集しています。

<知的障害者をサポートするスポーツコーチおよび送迎ボランティア>

●**内容**：スペシャルオリンピックスでは、知的障害者とともにスポーツの楽しさ・喜びを分かち合うさまざまなプログラムを実施しており、そのプログラムで知的障害者をサポートするスポーツコーチをボ集しています。コーチ経験のない方はもちろんのこと、今はあまりスポーツをしていないという方も大歓迎です。現在、水泳・ボーリング・スキーなどのプログラムを実施し、好評です。この他、あなたの好きなスポーツでコーチができますので、どしどしご応募ください。また、知的障害者のアスリートを送迎して下さるボランティアもボ集中です。

●**問い合わせ先**：yukinori@violin.ocn.ne.jp（若原 TEL090-9528-7107）、daisaku1@lycos.ne.jp（高木）

●**備考**：水泳プログラムの見学を、毎週日曜日 14:30～15:30 豊平公園温水プール（地下鉄東豊線「豊平公園駅」下車）にて実施しています。見学は事前にご連絡をお願いいたします。

<アスリートボ集>

●**内容**：知的障害のあるお子さんをお持ちの方、知的障害を持ったお知り合いのいる方、スペシャルオリンピックスのアスリートに誘ってみませんか？スペシャルオリンピックスでは、ひとりひとりの個性を重視した楽しいプログラム（8週間1クール、年数回実施、発表会あり）で日々の社会参加を促しています。年に1回の全国大会、4年に1回世界大会もあります。是非お問い合わせください。

●**問い合わせ先**：渡部 TEL011-753-2910 FAX011-752-1230

また、3月27日（日）18:30～札幌市時計台（中央区北1西2）でバンクーバー交響楽団コンサートマスターを迎えたスペシャルオリンピックス主催「時計台スプリングコンサート」を開催します。入場料は2000円です。多くの方のご来場をお待ちしています。

常時**ボランティア・パーソナリティ及びミキサーボ集**

●**内容**：札幌市内で一番最初にコミュニティFM放送を始めたラジオカロスサッポロでは、パーソナリティおよびミキサーをボ集しています。年齢・性別は問いません。我こそはと思う方、次の要領でご応募ください。締め切りは3月30日（必着）です。

●**応募要領**：<パーソナリティ>「ラジオのDJを好きな音楽をかけてやりたい」「これまでの人生経験を若い人に語りかけたい」「番組を持ち番組の企画制作も含むパーソナリティをやりたい」など、パーソナリティを希望する動機をお書きの上、簡単な履歴書を添えて手紙またはFAX、E-Mailでご応募ください。応募多数の場合は、オーディションを実施して選考させていただきます。<ミキサー>機器操作の経験、放送への関心などをお書きの上、簡単な履歴書を添えて手紙またはFAX、E-Mailでご応募ください。

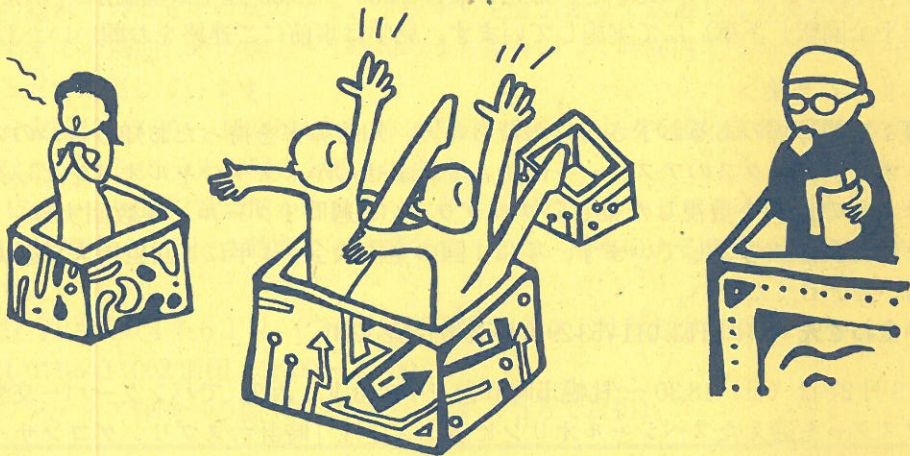
●**お問い合わせ・応募先**：〒064-0821 中央区北1条西27丁目5-10 回廊ビル3F
札幌コミュニティ放送局（地下鉄東西線 円山公園駅または西28丁目駅から徒歩4分）
TEL 011-622-2300 FAX 011-622-5201 E-Mail：info@radiokaros.com

常時**「札幌の劇場を考える会」会員ボ集**

●**内容**：「札幌の劇場を考える会」は、昨年9月、札幌近郊の演劇関係者と観客有志によって結成されました。その名のとおり劇場について考え、よりよい舞台創造環境を求めて行動することを目的としています。使う人も、観る人も一緒になって札幌の劇場について考え、ひいては北海道の演劇文化振興を図る、そんな私たちの会にあなたも参加してみませんか？演劇関係者だけでなく、演劇の好きな方、年齢・性別は問いません。是非ご連絡ください。また、「札幌の劇場を考える会」では、中島公園東隣にOPENした『アトリエシアターZOO』を支援しており、現在、改装のために募金を行っています。ご協力いただける方のご連絡もお待ちしております。

●**連絡先**：「札幌の劇場を考える会」事務局 TEL 090-9431-5172

●**その他**：3月24日（土）20:00～総会を予定しています。当日見学も可能です。参加ご希望の方は上記までご連絡ください。

**常時****運転ボランティアボ集**

●**内容**：「しびれ」の治療のため、週1回整体治療を受けている女性を車で送迎して下さる方をボ集しています。治療には実姉が付き添いますので、送迎のみで結構です。できれば週に1回平日がありがたいのですが、月に1回か2回ならできるという方、午後や日曜日なら可能な方もご連絡ください。

●**場所**：発寒（自宅）～北郷（治療院）

●**時間**：朝9:30頃（自宅出発）～10:30頃（治療院着）、約1時間治療（車内でお待ちいただきます。）12:30頃帰宅

●**交通費**：1回400円（後日支給します）

●**備考**：ボランティアして下さる方には、「電動車いすとボランティアの会」に入っています。年会費1000円（内ボランティア保険料700円）です。

●**連絡先**：「電動車いすとボランティアの会」代表 山口忠一 TEL 070-5116-0912
つながりにくい時には次の番号まで 090-3778-3464（原田） 070-5615-8620（山口）

E-MAIL： kangaroo@mars.dti.ne.jp

常時**スキー大会選手サポートボラおよび小規模授産所ボラ ボ集**

●**内容**：小規模授産所ウッドイトイズでは、3月11日に開催される「ハンディキャップスキー大会」に当施設から出場する選手を、大会当日サポートして下さるボランティアさんをボ集しています。ボランティアさん自身の大会出場も可能です。是非ご連絡ください。また、当施設で木工製品の製造や工房の内装工事をお手伝いして下さるボランティアさんもあわせてボ集しています。詳細は下記のとおりです。

<スキー大会サポートボラ>

●**日時**：3月11日（日）8:00～

●**場所**：テイネオリンピアスキー場 聖火台コース

<授産所ボラ>

●**日時**：月～金曜日 10:00～15:00の都合のよい時間

●**場所**：東区本町1条2丁目6-6 小規模授産所 工房ウッドイトイズ

●**備考**：内装工事は4月から開始します。また、ボランティア保険は完備、見学は自由です。

●**連絡先**：スキー大会サポートボラ、授産所ボラともに、次までご連絡ください。

TEL/FAX 011-782-1636（小規模授産所 工房ウッドイトイズ）

常時**『YOSAKOI』を一緒に楽しく成功させたい方 ボ集**

●**内容**：私たち YOSAKOI ソーラン祭り学生実行委員会では、YOSAKOI ソーラン祭りのメインステージである、大通西8丁目会場と一緒に企画・運営して下さる方を大ボ集しています。札幌市内、近郊の大学、短大、専門学校の学生が集まって活動しております。ここに来たらいろんな人達と友達になれます。何か夢中になりたいあなた！ぜひ一緒にやりましょう。

●**連絡先**：YOSAKOI ソーラン祭り学生実行委員会（北区北18条西3丁目18条ターミナルビル4F）
TEL/FAX 011-746-4351 E-Mail : yosakoi-soran@geocities.co.jp URL : <http://www.yosanet.com/it/>

常時**共同作業所のお手伝いボ集**

●**内容**：「ゆうゆう共同作業所」は、長期入院されていた方たちの自立生活支援を目的として、今年の1月20日にOPENしました。作業所では、いろいろな作業を行うだけでなくリサイクルショップも開いており人手が足りません。そこで、作業のお手伝い、食事作りなどをして下さるボランティアの方、また、リサイクルショップで扱うバザー品を提供して下さる方をボ集しています。まだまだよちよち歩きの作業所ですので、皆様のご協力が必要です。よろしく願いいたします。

●**日時**：月～金曜日 10:00～16:00

●**場所**：白石区南郷通2丁目南11-20

●**問い合わせ先**：ゆうゆう共同作業所 TEL/FAX 011-846-2733（担当：林・山本）

常時**夜間介護ボランティア 募集**

●**内容**：筋ジストロフィーの女性（48歳）で、車イス生活です。夜間の身の回りの世話（タワシや手で足をたたく、飲み物の用意）などをしてくださる方を探しています。また、小説の代筆なども願います。ボランティアの方には、一室設けますので、本を読むなり休むなりしてください。用事がある時にお呼びします。年齢・性別は問いませんが、健康で明るい方を希望します。よろしく願いいたします。

●**時間**：18:00か19:00～翌朝9:00（時間相談可）

●**場所**：厚別区中央1条4丁目1番E19-104

●**連絡先**：TEL 011-893-5342（古海）

常時**着替えや食事、読書などのお手伝いして下さる方 募集**

●**内容**：私は鹿野靖明（41）といいます。筋ジストロフィー症で、人工呼吸器を使用しながら一人暮らしをしています。着替えや食事、読書など日常生活のお手伝いをしてくれる方を捜しています。これまでも何度か募集をしたのですが、現在も人手が足りません。研修期間は一人になることはなく、先輩ボランティアが何でも丁寧に教えていくので、初めてボランティアをするという人でも心配ありません。安心して来てください。よろしく願います。年齢は16歳～50歳くらいの方。性別は問いません。

●**日時**：平日17:30～21:00 週1日程度泊まり有り（21:00～翌11:00 ※時間応相談・仮眠あり）
日曜11:00～18:30 月1回程度（研修中は月2回程度）

●**場所**：西区山の手2丁目3-1道営団地1-8（地下鉄琴似駅5番出口から徒歩10分）
※交通費支給します。

●**連絡先**：TEL/FAX 011-666-6733（佐藤）

常時**ハンディキャップボランティアリーダー 募集**

●**内容**：北海道YMCAには、現在200名以上の自閉的傾向や知的障害の子供たち（幼児～高校生）が週に1回水泳を習いに来ています。その中には、一人では泳ぎきれない子供が多いため、その泳ぎをサポート（補助）してくれるボランティア（ハンディキャップボランティアリーダー）を募集しています。期間は2001年4月～2002年3月の1年間。詳細は下記のとおりです。なお、交通費・謝礼は一切無償となりますので、ご了承ください。また、ご協力いただける方にはボランティア保険への加入（個人負担）をお願いしています。

●**参加資格**：18歳以上（高校生不可）で水泳経験のある方、1年間通して活動可能な方（夏・冬休みあり）

●**募集人数**：30名

●**活動内容**：①1人の子供を1年間通してサポート（水泳補助）するマンツーマン指導
②月1度のミーティング実施

●**問い合わせ先**：北海道YMCA（中央区南11条西11丁目）

ハンディキャッププログラム担当 春木・藤田 TEL 011-561-5217

●**その他**：3月5日まで体験会を実施しています。詳細はお問い合わせください。

常時

青年赤十字奉仕団と一緒にボランティアしませんか

●**内容**：札幌市青年赤十字奉仕団は、日本赤十字社のボランティアグループとして、児童養護施設への訪問活動、赤十字事業への協力、献血推進活動などを行っています。メンバーは学生・社会人混合です。18歳から35歳までの子どもの好きな方、ボランティアを始めてみたいと思っている方、経験がなくても大丈夫です。一緒に活動しませんか？随時説明会を行います。見学のみでも大歓迎ですので、お誘い合わせの上、是非お越しください。

●**活動日時**：児童養護施設への訪問は原則として月1回、日曜日。他に、活動の準備、連絡、研修などを毎週火曜日の19:00～21:00に行っています。献血推進などの赤十字事業は、キャンペーンなどにあわせ、不定期の活動になります。

●**活動場所**：日本赤十字社北海道支部（中央区北1条西5丁目 地下鉄大通駅下車5分・斗南病院向かい）

●**連絡先**：TEL 011-231-7126（呼出）（毎週火曜日19:00～21:00の間、この電話番号より札幌市青年赤十字奉仕団を呼び出してください）。ホームページもあります。

<http://www.hokkaido.jrc.or.jp/> 日本赤十字社北海道支部HPの「ボランティア」の項目から「札幌市青年赤十字奉仕団」へアクセスしてください。

札幌はこび愛 チャリティー コンサート2001 広い大地をこころでつなぐ

2001年
4月8日(日)

開演15:00 開場14:00

札幌コンサートホール
Kitara大ホール

(札幌市中央区中島公園1-15)

地下鉄「中島公園」駅と「幌平橋」駅からそれぞれ徒歩7分。

市電中島公園通り下車徒歩4分

札幌特別演奏会開催のお知らせ

札幌通運株式会社は、『クラシックコンサートの素晴らしさを広く市民の皆様に』をモットーに、来る4月8日(日)チャリティーコンサートを開催します。このコンサートの売上金の一部は共同募金会に寄贈し、社会福祉に活用していただきます。ぜひこの機会に、札幌のシンボル『キタラ』を舞台とした、北海道が誇る札幌の迫力ある演奏をお楽しみ下さい。

なお当日は、身体にハンディーをお持ちの方のお迎えができる会場作りを進めていますので、安心してご来場下さい。(有料予約制の託児室もあります。)

チケットは

全席指定2000円

キタラチケットセンター

(キタラ内 TEL 011-520-1234)

札幌トラベル

(札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル1階
TEL 011-251-4190)

お問い合わせは

札幌通運コンサート事務局

TEL 011-251-4111

3/11**第5回ハンディキャップスキー大会開催**

●**内容**：子供から大人まで、障害を持った人による札幌大通ライオンズクラブ杯北海道ハンディキャップスキー大会です（健常者の方も選手として参加可）。競技はアルペン競技（大回転）申告タイムレースで、参加費は1,000円です（弁当代込み）。この機会に思い切りスキーを楽しんでみませんか？

●**日時**：3月11日（日）8:00 受付、9:30 競技開始、13:00 表彰式

●**会場**：テイネオリンピアスキー場 聖火台コース（手稲区手稲本町 593 TEL 011-681-3191）

●**競技参加資格**：①身体障害者手帳の交付を受けている方、及び大会の目的に賛同する方。②参加者は必ずスポーツ障害保険、またはこれに準ずる障害保険に加入するものとします。（参加者の事故について、主催者は責任を負いかねますので、各自で充分留意してください）。

●**表彰**：申告タイムレース入賞者6名、

1本足スキー・2本足男女・チェアスキー・ブラインド各組別最高タイム各1名

●**参加申込**：札幌大通ライオンズクラブ事務局 兼 大会事務局

（中央区南1条西6丁目第2三谷ビル4F） TEL 011-210-0033 FAX 011-242-3161

3/31**「環境保全活動支援助成金」助成団体募集**

●**内容**：北海道環境財団では、2001年度の「環境保全活動支援助成金」助成団体を次のとおり募集します。この助成金は、道内の市民団体等が自発的な環境保全活動を行うに際し、必要な経費を助成するものです。

●**助成対象**：道内で環境保全活動を自発的、継続的に取り組んでいるか、これから取り組もうとする団体が行う環境保全活動に関する実践活動、普及啓発活動、調査活動など。助成範囲は、環境保全活動に関わる資料購入、講演会・学習会等の催し物の講師謝礼、会場使用料など事業に要する経費で、2001年度内（2001年4月1日～3月31日）に実施する事業を対象とします。

●**助成額**：①スタートアップ助成：新たに活動開始、もしくは活動開始3年未満の団体を対象に対象経費の満額を20万円を限度として助成（20万円を上回る分は自己資金など）。

②ステップアップ助成：3年以上活動している団体を対象に、対象経費の1/2を50万円を限度として助成。

●**応募方法**：指定の応募様式がありますので、下記問い合わせ先まで応募要綱の送付を請求してください。助成を希望される方は、お送りする案内をよくお読みの上、各種申請書類を環境サポートセンターまで郵送してください。

●**応募締め切り**：3月31日（土）18:00まで

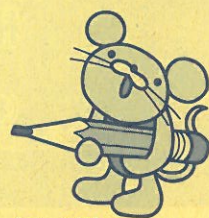
●**問い合わせ先**：環境サポートセンター「環境保全活動支援助成」

担当：山本 TEL 011-707-9025 FAX 011-707-7772 E-Mail：yamamoto@heco-spc.or.jp

翻訳家への道

翻訳各講座 文芸翻訳、実務翻訳、ライティングなど各講座をプロが直接指導！新設の「ミステリー翻訳講座」は、翻訳家の渋谷比佐子さんを講師に、毎月2日間の集中授業です。

翻訳業務 海外との手紙のやり取りや、ご契約書にいたる多言語の翻訳をうけたまわります。



インターカレッジ札幌 TEL 011-219-1211（13:00～19:30）
intercollege@aurora-net.or.jp

常時

共同作業所スペース探しています

●**内容**：つばさの会共同作業所は、精神や神経の病気を持つ人たちが、安心して仕事をしながら、仲間同士で気楽におしゃべりしたり、リクレーションを楽しんだりできる場を目指しています。現在、除雪・チラシ折り・リサイクルバザーなどの作業を行っていますが、自分たちでできる作業の可能性をもっと広げるため、また会員（通所者）の増加に伴い、新しい共同作業所を作ろうと考えています。そのため、北区または東区で1軒家・町工場跡・倉庫・アパート1棟など延50坪くらいの広さの場所を探しています。今の作業所から遠くなければ多少古くてもかまいません。また、土地だけでも結構です。心当たりのある方は是非ご連絡ください。

●**連絡先**：つばさの会共同作業所（北区北36条西3丁目2-5 サンパーク北36-102）
TEL/FAX 011-728-8540（月～金曜日 9:00～17:00）代表 山本

3・4月

「7ヶ国語で話そう」教育講演会

●**内容**：ヒッポファミリークラブでは、「たくさんの言葉をたくさんの仲間と話そう」という主旨で、『7ヶ国語で話そう』教育講演会を下記のとおり開催いたします。たくさんの言葉を同時にしかも勉強しないで話せるようになる、その方法や体験についてお話します。赤ちゃんから学生、お年よりまで。また、お一人でもご家族でも一緒にやれるのが魅力です。是非、聞きに来て下さい。参加費は無料。託児もあります。

●**日時・場所**：

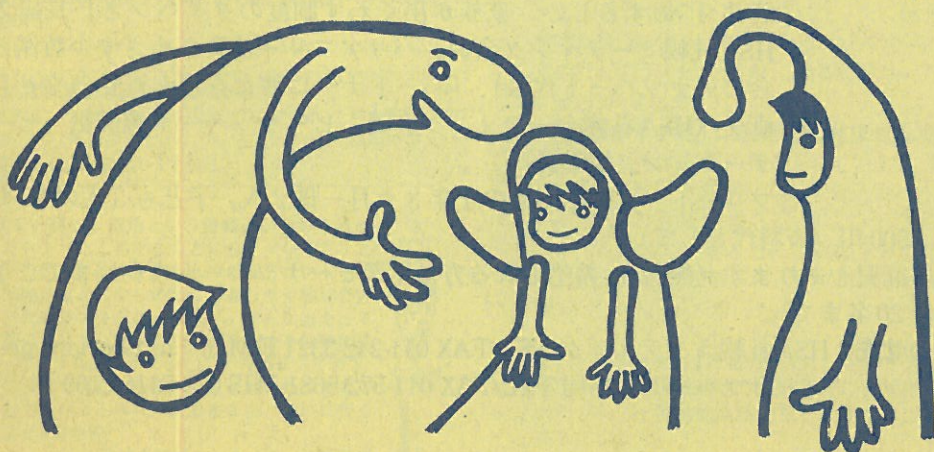
- ① 3月24日（土）14:00～16:30 札幌市民会館（地下鉄大通駅下車）
- ② 3月25日（日）13:30～16:00 南区民センター（地下鉄南北線真駒内駅下車）
- ③ 3月31日（土）13:30～16:00 北広島芸術文化ホール（JR線北広島駅下車）
- ④ 4月1日（日）13:30～16:00 厚別区民センター（地下鉄東西線新札幌駅下車）
- ⑤ 4月2日（月）10:30～12:30 札幌留学生交流センター（地下鉄東豊線学園前駅下車）

●**講師**：①と②は安本欣司氏（言語交流研究所常任理事）

③④⑤は笹倉一恵氏（言語交流研究所研究員）

●**連絡先**：ヒッポファミリークラブ TEL011-837-1130（奥山）

3月のボラナビの集いの
ゲストスピーカーです。



3/22**「市民と共に創るホスピスケア講座」シリーズ23
第87回受講生ボ集**

●**内容**：「市民と共に創るホスピスケアの会」では、毎月1回、3ヶ月を1シリーズとして、医療関係者や福祉関係者、患者、家族の方々などを講師に迎えて市民講座を開催しています。会員は全員ボランティアで、「望ましい医療と福祉は、受け手と担い手が対等に協力し合うことでしか実現しない」という信念のもとに活動しています。人生の締めくくりを迎えた人が、最後まで自分らしくありたいと思う、ささやかな願いの実現を目指しています。第87回は下記のテーマで開催します。皆様の参加をお待ちしています。

●**日時**：3月22日（木）18:30～20:00（質疑応答含む）

●**場所**：かでの2・7 4階大会議室（中央区北2条西7丁目）

●**テーマ**：「がんと共に生きる人からのメッセージ」～がんの再発と向き合うには～

●**講師**：パネラー／小野寺哲雄氏他、コーディネーター／斉藤悦子代表

●**受講料**：会員・学生500円、一般1000円（会場にて受付）

●**申込方法**：郵便番号、住所、氏名、電話番号、会員・一般・学生の別をご記入の上、ハガキまたはFAX、E-Mailにて3月15日（木）までにお申込ください。受講票をお送りします。

●**問い合わせ先**：「市民と共に創るホスピスケアの会」事務局

〒060-0061 中央区南1条西16丁目1-245 レーベンビル3F

TEL/FAX 011-615-6060 E-Mail：shimin-hospice@mb.infosnow.ne.jp3

3/20**フォーラム2001「子どもと暮らす女性カップル
～多様化する家族の姿～」講演会参加者ボ集**

●**内容**：北海道セクシュアル・マイノリティ協会（HSA）札幌ミーティングの主催で、次のとおり講演会を開催いたします。多くの方の参加をお待ちしています。

●**日時**：3月20日（火・祝日）14:00～16:30（13:30開場）

●**場所**：札幌市社会福祉総合センター 4F 大研修室（大通西19丁目）

●**主なプログラム**：①基調講演 近藤恵子（女のスペース・おん代表世話人）

②講演『“めずらしい”家族が出くわす制度のタイヘンさ』長嶺久美子（HSA札幌ミーティング会員、バリアフリー社会をめざす少数派と女性の会ピーナツハート代表）、『パートナーに彼女を選んだ私の幸せ』三重野直美（HSA札幌ミーティング会員、ピーナツハート機関紙「ピーナツステーション」編集長）

③フリートーク『私たちの1年3カ月—母2人、子ども5人のサバイバル』

●**参加費**：500円（資料代として）

●**その他**：託児もあります（無料）。希望される方は下記ピーナツハート事務局までご予約ください（先着20名まで）。

●**問い合わせ先**：HSA札幌ミーティング TEL/FAX 011-242-3321 E-Mail：hsa@orions.ne.jp

ピーナツハート事務局 TEL/FAX 011-572-5681 PHS 070-5116-7109

ボラナビの主な配付先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。
(問い合わせの多い大通り、札幌駅近辺のいくつかには住所も書いています)

●札幌市内と近郊の大学・専門学校●

大谷短期大学、札幌医科大学(本屋)、北海道浅井学園大学、札幌学院大学(江別BBS)、札幌国際大学、天使女子短期大学、藤女子大学、北海道文教短期大学、北星学園大学、北海学園大学、北海道医療大学、札幌福祉専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道医薬専門学校、北海道大学、北海道教育大学、小樽商科大学、札幌大学、酪農学園大学

●スーパー●

北雄ラッキー、スーパーJOY、札幌東急ストア、ホクレンショップ・ホクレンディスカウントショップ、コープさっぽろ、SEIYU、マイカルSATY、ラルズ系スーパー、マックスバリュ<以上のスーパーの市内全店>、札幌フードセンター(平岸、元町、澄川、北、新道、篠路、豊平、琴似、菊水、森林公園、カスタム-東苗穂、月寒中央)

●書店●

文教堂 本店の店 岩本 市内全店、紀伊国屋書店 市内全店と小樽店、くすみ書房、ダイヤ書房(北25東8、発寒14条3丁目、川沿1条1丁目)、ピヴォブックセンター(南2西4ピヴォ6階)

●レンタルビデオ店●

TOWA・フォレストエージ 市内全店、TSUTAYA(北14東6、北3西28)

●CD店●

VIRGIN MEGA STORE(南1西3ラ・ガレリア地下1階)

●映画館●

松竹、S Y遊楽、札幌劇場、シアターキノ、東宝公衆、東映劇場

●銀行●

札幌信用金庫 札幌市内と近郊全店、北海道銀行 札幌市内と近郊全店

●病院●

手稲溪仁会病院、北海道循環器病院、市立札幌病院

●飲食店●

可否茶館 市内7店舗、サンローゼ、サッポロ珈琲館

●その他●

北海道環境サポートセンター(北7西5)、朝日カルチャーセンター(北2西1)、札幌国際プラザ(北1西3)、北海道電力(株) 市内全営業窓口、琴似日食コンカリーニョ、道新文化センター(大通り西3)、ライラックパセオ、J Tインフォプラザ(南2西3)、さっぽろ村コミュニティ工房、JR琴似駅、JR新札幌駅

●市内公的施設●

70カ所(区役所、図書館、地区センター、市民活動プラザなどに配布をお願いしています)

3月のボラナビの集い

3/10 13:30~15:30
(土) 初心者歓迎!

3月の集いのゲストは、13ページのヒップファミリークラブさんです。

予定 **4月は13日(金) 18:30~20:30**
5月は12日(土) 13:30~15:30

場所：環境サポートセンター
北区北7西5札幌千代田ビル1階 TEL011-707-9025
会費：300円。

ボラナビでは、表紙の絵を集めています。

応ポの方は、ボラナビ倶楽部へB5以上の紙へ描いた絵を郵送してください。紙は折らないようにお願いします。採用の方には、こちらからご連絡いたします。

「ボラナビの集い」運営という意義深い経験をさせていただきました。苦手なことにもチャレンジ!とやってみた司会でしたが、ろれつ回らないトーク+ボラ知識ほとんどなしの私に、頼りなく感じた方は多かったのでは?ごめんなさい。そんな当たって砕ける型の今井でしたが、これから始まる仕事には砕け散っていかないようにしたい。それはさておき、新しいスタッフの方々頑張ってくださいね。そしてちょっとでもボラに興味のあるあなた、集いに行くんですよ!!(命令形)

今月まで学生スタッフ 今井美佳



読者の皆様へ

・ボラナビを定期的に欲しい方、お申込下さい。

ご希望の方は、郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望部数、できれば購読期限がきた時の連絡のためのFAXかメールアドレスをお書き添えの上、1500円をボラナビの口座にお振り込みください(口座番号は最終ページにあります)。6カ月間お届けします。複数部数お届けできますので、サークルや学校単位での購読にご利用下さい。

・「月刊ボラナビ」バックナンバーさしあげます。

バックナンバー(古い号)も配送します(創刊号と3、12、29号は品切れしてしまいました)。郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望する号と部数をお書き添えの上、ボラナビの口座にお振り込みください(金額は…おまかせします)。

・「月刊ボラナビ」に広告を載せませんか?

ボラナビでは広告の掲載をしています。縦4センチ横13センチで6万円です(版下制作費込み)。「月刊ボラナビ」への協賛の意味が強く、金額は若干高めに設定させて頂いています。企業の方には負担をおかけしますが、このほうが広告の数が限られ、目立ちます!掲載希望の際はご連絡下さい。

※「月刊ボラナビ」は毎月25日に、2万7千部発行しているボランティアと地域活動の情報誌です。札幌市内の大学、書店、スーパー、社会福祉協議会などを中心に、350カ所で無料配布しています。

今月協賛して下さった方々 (サンス順)

- ・札幌光星学園 様
- ・札幌信用金庫 様
- ・札幌通運労働組合 様
- ・さっぽろ法律事務所 弁護士 大賀浩一 様
- ・札幌ポプラライオンズクラブ 様
- ・静内町社会福祉協議会 様
- ・城宝 和茂 様
- ・進藤 芳彦 様
- ・高垣 正計 様
- ・株式会社土屋ホーム 様
- ・富永 まさ与 様
- ・中道リース株式会社 様
- ・野島 聡 様
- ・幡本印刷株式会社 様
- ・ほくでんぼるねっと 様
(北海道電力内ボランティアサークル)
- ・北門信用金庫まちづくり基金 様
- ・北雄ラッキー株式会社 様
- ・株式会社ホクレン商事 様
- ・株式会社北海道アルバイト情報社 様
- ・北海道紙商事株式会社 様
- ・北海道技術士センターリージョナルステート研究会 様
- ・北海道振興株式会社 様
- ・北海道ビジネスオートメーション株式会社 様
- ・北海道ボランティア振興協会 様
- ・マイクロソフト株式会社 様
- ・松尾 みつ子 様
- ・真屋 幹雄 様
- ・株式会社リクルート北海道じゃらん 様
- ・赤帽北海道事業本部 様
- ・NPO 越智基金 様
- ・北区まちづくり活動コンテスト 様
- ・栗山 隆光 様

協賛協力をお願い

ボラナビの発刊は企業・グループや個人からの500円からの協賛金でまかっています。1万円協賛いただいた社(方)の名前は誌面で紹介させていただいています。継続的なご協賛をお願いします(数号分まとめての振込みも可能です。政治や宗教団体などは、お断りさせていただく場合があります)。

■郵便局口座番号:02700-1-5671

■北洋銀行口座名(普):札幌駅北口支店 0118625 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■北海道銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0816050 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■加入者名:ボラナビ倶楽部

情報提供をお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはEメールでお送りください(Eメールだと嬉しい!)。掲載料は無料です。読者の声等への投稿もお待ちしています(発行日ひと月前までをお願いします)。なお、送られた原稿はスペースの関係等により、主旨をそこなわない範囲で書きなおす場合があります。あらかじめご了承ください。

ボラナビ

CLICK!

ホームページアドレス
<http://www.infosnow.ne.jp/volunavi/>

メールアドレス
volunavi@mb.infosnow.ne.jp

月刊 ボラナビ

■発行:ボラナビ倶楽部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

北海道NPOサポートセンター内(南向き)

FAX専用:011-716-2899(電話はかかりません)

■発行日:2001年2月25日

■発行部数:27,000部

■代表:森田麻美子

■印刷所:幡本印刷株式会社